

2026.2

月刊・辺境

巻頭特集

香林居ニューフェイス座談会

ゲスト：支配人・村松 ニューフェイス・浅谷・園山・堀

マダム・モーハの
占い館
命の相談者
松田 早也香さん

★カバーガール★
香林居・浅谷唯

今月の
スター凶鑑

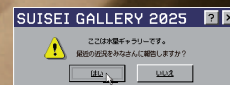
BAR **孤独**

ゲスト：
今庄湧希

スナック
えなり

ゲスト：福島和也

SUISEI
図書館



月刊・辺境

香林居ニューウェイブ座談会

昨年下半年から続々と新しいメンバーがジョインした香林居チーム。本日はチームを率いる支配人・村松さんと、ニューフェイスの浅谷さん・園山さん・堀さんをお迎えして、香林居第二章のリアルな様子をお届けします！

「香林居チーム、最近はますます結束力が高まっているという噂をよく耳にします。」

村松：おかげさまで「熱量高め」でやらせてもらってます！

まずは、それぞれ多彩なキャリアを歩まれていた皆さんがなぜ香林居にジョインするに至ったのかについてお聞きしようかと思えます。

村松：前職では人事をしていたのですが、本当は「サービスを提供する現場に回りたい」という渴望がずっとあったんです。

実は、初めて水星のカジュアル

系のシステムを担当していました。人事の方と一緒に効率化を支援するような仕事です。

いちゲストとして香林居に泊まった際、迎えてくれたスタッフさんが本当に楽しそうで生き生きと生きている。ただただ業務に忙殺されていた私にとっては、「こんな働き方があるんだ！」と衝撃を受けました。そこから、

水星のnoteを読み漁り、Podcastを聞き込み、気がつけば水星の強火ファンになって、SHE, KYOTO



▲北摂出身と聞いてみんなが納得の気品を持ち合わせる堀さん。

面談を受けたのは2023年秋頃で、ただ当時は前職でまだやりきりたいことがあったので選考に進むのは一度保留にさせてもらいました。転職は、

2025年4月に青山ブックセンターで行われた『クリエイティブジャンプ』のサイン会。翔子さんの話を聞いているうちに志望度が爆上がりし、その勢いでサインをもらう時にご本人へ「選考受けてました」と伝えたら、背後にいた金井塚さんが飛んで来て（笑）その場で「金沢どうですか？」と言われ、4秒で「いいですね！」と即答して、今に至ります。

浅谷：前職ではSEとして労務

に泊まりにも行っただけです。その時、緊張でモジモジしながら、藪田さんに、「いつもPodcast聞いてます！」と声をかけたのが、今思えば運命の分かれ道でした。

園山：僕は前職のSNSを中心とした広告代理店で3年ほど、新製品 프로모ーションのために数千万円単位の予算を預かり、キャスティングからディレクション、ほぼ営業に近いことまで、色々やっていました。でも、

もっと「手触り感のある、自分のライフスタイルに近いものを伝えていきたい」と思っています。学生時代に「CRAZY WEDDING」のプロジェクトに関わっていたり、湯河原で働いている知り合いがいたり、翔子さんのことはずっと前から追いかけていたので、その中で水星のビジョンにも親和性を感じていました。

堀：前職のシンクタンクでは交通や観光の政策に関する調査研究・分析を担当していたのですが、あまりに最上流に位置している現場の景色が見えず、「政策がどのように人々の暮らしにつながっているのか自分の目で見てみたい」と感じていました。また、学生時代のバックパッカー

経験から、どこの国に行っても同じような、地元の経済・文化から隔離されたリゾートホテルに違和感を持っていたので、翔子さんの原体験のお話に勝手に共鳴したんです。過去に泊まって素敵な空間だったと記憶していた香林居が、水星のホテルだったと後から知った時は、運命的なものを感じました。地域と地続きになっている香林居の思想は、私にとって探し求めていた答えだなと思っています。

「みなさんこれまで、各々その道のプロとして活躍されていますが、香林居に入って、現場ならではの洗礼を受けたのではないのでしょうか。」

村松：私は、デスクワークからの現場への転職だったのである

程度覚悟はして入ったのですが、とりあえず「清掃、むすすぎ!」、これに尽きます。特にベッドメイクには、自分の無力さに打ちのめされましたね。：。事務なら関数を組めば効率化できますが、現場は自分の身体能力と「先読み」の積み重ねです。香林居には「福井さん」というレジェン

ド主婦アルバイトさんがいるのですが、その動きがもう異次元で、無駄のない一挙手一投足が速さを決定付けているんです。例えば「枕を作るテーブルからベッドサイドに行く一歩の間に、他のシートもついでに持っていく」というだけで30秒変わる。

園山：僕も、清掃のレベルの高さには度肝を抜かれていて、僕たちの仕事に「飲み込まれていく」感覚です。ただ、とベンチャー出身の僕からすると「想像以上にマニュアルがしっかりもしてるんだな」という、ポジティブなギャップもありました。整えられた基盤があるからこそ、その上で自分なりの工夫を乗せていける。ホテルでの仕事は、目の前のお客様に向き合う時間と、未来のお客様やブランドの



ド感に、最初はついていくのに必死でした。でもある時、自分が必要だと思っただけの導入を提案したら、すぐに「じゃあ進めて」と任せてもらえて。裏議を経ることに実装されるこのスピードは、前職では考えられなかった大きなやりがいです。

堀：今の環境は本当に新鮮です。

前職のシンクタンクでの仕事は顧客の情報やデータを処理することなので、スレや間違いが許されない世界でした。

香林居では既存のマニュアルがあっても「こうした方がいいんじゃないか」と提案すれば、すぐにオペレーションをアップデートして試すことができる。そしてそのスピード感を社員だけでなくアルバイトの皆さんも持っていて、自ら考えて提案してくれる環境がとても新鮮です。

え、今の香林居の魅力をどう可視化するか」という戦略的な議論も、このフラットな関係性だからこそ遠慮なく進められる。

浅谷：加えて、自分の生活者としての感覚をそのまま仕事に接続できるのも、香林居チームの強みの1つだと思います。プライベートでの「良い体験」を仕事に結びつけるのがみな上手なんです。無意識なのか意識的なかわからないけど。

村松：この間も、些細な雑談から「サウナの椅子、もっとこういうのがいいよね」という意見が出て、そのアイデアがすぐに具体化してたよね。他にもメニュー表を変えたいとか、ブランケットの声掛けを徹底しようとか、香林居の体験価値を上げるためのアイデアがどんどん溜まっていきます。

これからは、アイデアが出てからいかに早く改善を重ねられるかにも注力していきたいです。

堀：香林居スタッフ全員の醸し出す空気感も、良いチームづくりにつながっていると思います。

村松：あの「ちょっと良いですか。みんな、テンション低いな〜！よそゆきの顔してます！」

「真面目な話になってしまいましたが(笑)では、ニューフェイスメンバーのキャラクターについて、村松さんからご紹介いただいても良いでしょうか？」

村松：まず私は多分みんなから「うるさい姉ちゃん」だと思われているんじゃないかな。

浅谷：んでもないです！

仕事モードの時はカッコいい支配人だけど、雑談している時は友達みたいにフラットに接してくれる、私にとっては本当に頼れるお姉ちゃんです。つい何でも話しちゃうというか。

村松：嬉しいですね。

浅谷さんは、チーム内ではもう満場一致で「お嬢」です。見た目はすごくハイセンスでお洒落なお嬢様という感じなんですけど、実はすごく「末っ子感」があるんですよ。そのギャップが可愛くて、社内にもファンダムができてますよね。浅谷さん

ゲストの方は、ありがたいことに非常に期待を寄せられているので、それにお応えしなければ！と身構えてしまいたいんですけど、皆さんそんな雰囲気を感じない。香林居ならではの居心地の良さを日々実感しています。

「毎日現場に立っているからこそ見つけた、「香林居のここが好き〜」という推しポイントを教えてください。」

村松：私はもう、絶対に「ハイフオアスイート

(ビュ)のドアを開けた瞬間です。部屋に入った時に、まっすぐ美しく張られたカーテンが目に入り、その手前に「ニューライトボタリー」のアーチ型のライトが重なる角度。あの造形美

の髪型が変わるたびに、「今日の髪型可愛い〜♡」って盛り上がってます(笑)

浅谷：自分から言ってるわけではないのですが、前職の上司にも「ユイ様」って呼ばれたりしていたので、そういう星の下なのかもしれないですね。

村松：そして、香林居のテンションを一気に引き上げてくれたのが、クリスマススの日に爆誕(入社)した、盛り上げ隊長の「そのび」こと、園山さんです！

東京のベンチャーを渡り歩いてきたかのようなカルチャー味が全身から溢れていて、現場の空気をいつもパツと明るくしてくれる存在です。とにかくずっと喋ってる(笑)

園山：はい、「そのび」です！

お姉様方にこのあだ名を付けていただいていたから、盛り上げ隊長としても精進しています！

村松：そして堀さんは、一言で言うともう本当の「気品あるお姉さん」なんです。受け答えのバランスが素晴らしくて、

が最高で、入社して一年半経った今でも、見るたびに毎回「美しいな」と感動しています。

浅谷：私は、朝の「スーペリアルーム」派です。朝、部屋の電気を点けない状態で窓から光が差し込むと、ベッドの上に窓の格子の影と外にある植物の影がくっきりと映り込むんです。その静謐なコントラストが本当に



▲笑顔が眩しい盛り上げ隊長・そのび

「それぞれ全然キャラが違うけど不思議とバランス感のあるチームだなと改めて思いました。香林居には、すごくフラットで「チーム」としての体温が高い印象があるのですが、そういうチーム作りの秘訣や強みってなんですか？」

村松：水星のバリエーションである「チームの熱量を上げる」を、みんなが「技術」として備えているんですよ。明る性格だから盛り上げる、という次元ではなくて。忙しくて必ず全員はレポートにスタンプを返したり、意識的に仲間の良い仕事を賞賛したり。昨年後半以降は特にその意識がチーム全体に浸透して、すごく良いリズムが生まれている気がします。

園山：このチームはただ賑やかなだけじゃないんですよ。例

ことを考える時間が、同時に存在しています。体験の企画、設備やオペレーションの改善など関われる領域は幅広く、さまざまな視点や強みが、そのまま価値につながっていく環境に日々ワクワクしています。

浅谷：私は逆にマニュアル完備の大企業出身だったので、水星の「走りながら考える」スピードが驚きました。堀さんがいるとその空間の空気が整うような気がします。

お上品で…。北摂出身の宝塚ブランドっていう背景を聞いた時は、チーム全員が「あ、納得」ってなりました。堀さんがいるとその空間の空気が整うような気がします。



▲休日や退勤後にも集まっちゃう仲の良い金沢メンバー

そのものも好きです

堀：私は、特定の場所ではないのですが、香林坊の歴史をちゃんと残しながら、地域の人たちと一緒に作り上げてきた空気感が好きです。

香林居で働くスタッフもみんなどんなに忙しくても気が立っていなくて、建物と人が一体となってゲストを包み込んでいる感じがとても好きなんです。ゲストにもより地域との繋がりを感じていただきたいなと思って、今、客室のミニバーに置いている商品の入れ替えを計画中です。

「皆さん移住してきて数ヶ月、1年以上経ちますが、金沢での生活はどうですか？今は雪がすごそうですね。」

浅谷：私が移住してきた8月はずっと晴天で「金沢のイメージ

ネイチャー」感も金沢移住の大きな恩恵でした。

「ちなみに、金沢って競馬場ありましたっけ？」

村松：ありますよ、金沢競馬場！競馬自体も面白いんですけど、やっぱり目的は「食」なんです。実は、『金沢玉寿司』の大將は、本店じゃなくて金沢競馬場場で握ってるんです。美味しいお寿司を食べて、馬を眺めて、ついでに帰りにうどんを食べて帰る休日は最高ですよ。

「村松さんらしいマニアックな有益情報をありがとうございます！」

盛り上がりしてきたところですが、そろそろお時間なので、最後に他拠点メンバーに向けて一言ずつお願いしても良いでしょうか。

村松：館全員が「チームの熱量を上げる」を受賞できるようなチーム作りをしたいです！みなさんのレポートにも香林居メンバーからのスタンプが付いているかも・・・？

と違う！」と思っていたのですが、最近はやっと金沢らしい雪景色を体験できてます。金沢って、至る所に人の暮らしが息づいている感じがして心地いいですね。

堀：私も3日前に『Isotope』行きました(笑)

香林居の建物のすぐ後ろの片町・香林坊エリアは特に、素敵なバーや飲食店が密集していて、凝縮度がすごいですよね。私は職場から家まで徒歩10分圏内なんですけど、帰り道に素敵なバーや居酒屋、お酒落なヒストロが密集しすぎていて、ついつい吸い込まれてお酒を飲んじゃうのが、最近のルーティンです。

園山：東京と違ってエリアが凝縮されているから、誰かにおすすめされたお店にすぐ行けるの

園山：お兄様お姉様に暖かく向かい入れていただき、楽しく働いております！ぜひ金沢にも遊びに来てくださると嬉しいですよ！

大阪出身なので戻った際や、社員総会などでお会いした際はたくさんお話させてください。これから改めてよろしくお願ひします！

浅谷：「食への情熱」こと浅谷です。(入社エントリ参照) 行きたいお店がまだまだたくさんあるので金沢へ来た際はご飯を一緒に食べたいです！また香林居のショップでこんなあればいいなというアイデアがあればわくわくするのでぜひ共有ください。

堀：ワインと美味しいものが大好きな堀です。まだお話ししたことのない方がほとんどなので、皆さんとお会いできる機会がとても待ち遠しいです！金沢に来られた際は、ぜひご飯行きましょう！

が最高ですよ。選択肢の数は東京ほど多くない分、「顔が見える繋がり」がある。店員さん同士の繋がりも強くて、どんなコミュニティが広がっていく感じがします。

村松：チームの結束力も、この立地に助けられるところもあります。24時に退勤したメンバーが、先に3次会くらいで飲んでるチームに合流して、結局深夜2時まで飲んで語り合う…なんてことも日常茶飯事です。

園山：「香林居あるある」ですよ。香林居チーム一同、休肝と節約に努めねば(笑)

「皆さん、SNSやStackでもたびたびグルメの話題が話題に上がっていますよね。」

村松：香林居のロケーションがもう「暮らしのチート」なんですよ！帰り道にミスドもあれば、深夜までやっている油そば屋もある。ラーメン屋さんには3軒くらいあるし、バーに至っては100店舗以上あるんじゃないかな。誘惑が多すぎるんです。

美しく、見るたびにスマホで写真を撮っちゃいます。

園山：僕は、季節によって見え方が変わる、ラウンジのアーチ越しの景色が好きです。最近では雪が積もっていて、静かな雰囲気がついても素敵です。

同じ場所でもまったく違う時間が流れているように感じるので、春の季節も楽しみです。あと、建物全体がまとう「気の良さ」

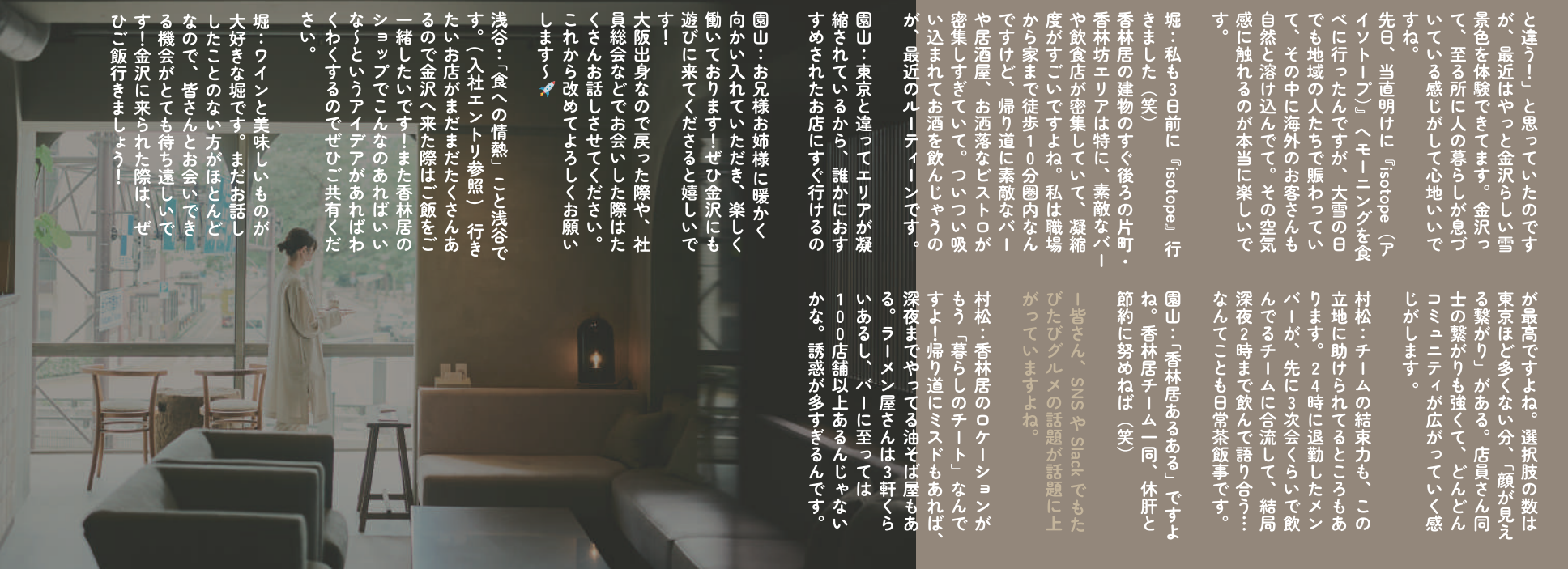
12月と1月の飲み代と外食代を計算したらエンゲル係数がとんでもないことになってしまいました。

堀：私も毎日誘惑と戦ってます。

浅谷：香林居ではGoogleマップにゲストへのおすすめのお店リストを作っているんですけど、その中には「送客の無記録」を誇るお店もあるんです。週末の激混みの時間帯でも「あそこなら絶対空いているし、しかも100%満足してもらえます」という、まさに困った時の頼みの綱にさせてもらってます(笑)

村松：そういう引き出しがどんどん増えていくのが楽しいんですよね。

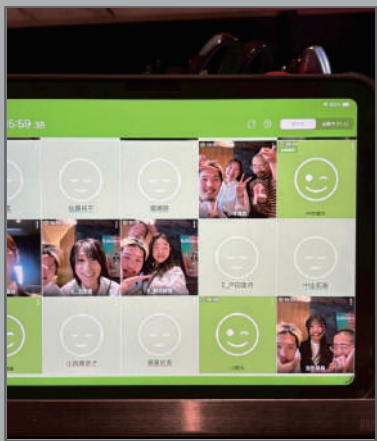
園山：常に山が見える景色、少し足を伸ばせば海がある、この





OSAKA

スマレジなかよし!!!



KYOTO
クラフトビールのPOP変えたぜー!

香林居
今日も今日とてアイソトラブル。。。

PRODUCE
おしぼり置きに使われている
タイル材の解説をするナイルさん



SUISEI GALLERY 2025

⚠️ ここは水星ギャラリーです。
最近の近況をみなさんに報告しますか?

はい いいえ



CHILLNN
ランチタイムにマリカー!



KUMOI
おしぼり置きに使われている
タイル材の解説をするナイルさん

エンタメ
テストプレイにお越しいただいた
みな様、ありがとうございました!



今月のお客様

ふくしま かざや 福島 和也

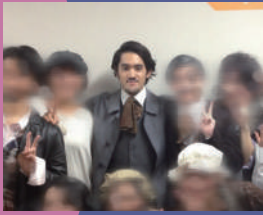
ママ ママ 演技の仕事を以外何かにしていたの。
和也 はい、生計を立てるために、い〜い〜か掛は掛は掛で働きました。ディズニーのキャストを三年間と、アパレルの店員もしていました。水曜日に転職をする直前にはシドニーに留学して、五つ星ホテルのコンシェルジュを勤めていました。

ママ ママ 演技の仕事を以外何かにしていたの。
和也 シドニーのホテルで働いていた経験を活かして、アルパイトスタッフの英語教育をメインで担当しています。あとはサイ

今月のママの一曲

内に情熱を秘めたエンターティナーのあなたにぴったりな一曲。

「Smooth Operator」
- Sade



▼俳優時代の一枚

スナック えなり

ママ ママ 未練残りのスタートで、戸惑いはなかったのだから、いろんなステップで演技を学んだの。
和也 小栗きんごとを輩出したトライスターという事務が養成所もされていたので、まずはそこから演技を学びました。アパレルの名目では、海外に遠征力を入れたる格派俳優が多い事務所というイメージがあり、着られました。
ママ ママ 未練残りのスタートで、戸惑いはなかったのだから、いろんなステップで演技を学んだの。
和也 小栗きんごとを輩出したトライスターという事務が養成所もされていたので、まずはそこから演技を学びました。アパレルの名目では、海外に遠征力を入れたる格派俳優が多い事務所というイメージがあり、着られました。

ママ 接客業が多いね。人へ話すことは昔から好きだったの。
和也 そんなに得意な自覚はないんですけど、でも熱いテラスクフークをするよりは活動した人へ話す方が好きだなという気持ちには昔からあるかもしれません。
ママ ホテリアになってから、俳優時代と比べてフランクスタイルの変化とかはある。
和也 シフト制の働き方、劇と俳優時代と似ている感じがします。俳優って売れている人では口は閉じて仕事が出来ない、みたいなことがよくあるもので、フツフツ毎日吐き出さる感じは俳優のところからすれば、エンタメ業界とホテル業界の意外な共通点が見えてくるわ。
和也 そう思います。今も「林居の住人」を演じながらホステタリィを兼業しているのを覚えているので、俳優やディズニーのキャストをしていく頃と同じような感覚ですね。特殊な転職と思われがちですが、僕的には納得のいくキャリアなんです。

ママ ママ ホテリアになってから、俳優時代と比べてフランクスタイルの変化とかはある。
和也 シフト制の働き方、劇と俳優時代と似ている感じがします。俳優って売れている人では口は閉じて仕事が出来ない、みたいなことがよくあるもので、フツフツ毎日吐き出さる感じは俳優のところからすれば、エンタメ業界とホテル業界の意外な共通点が見えてくるわ。
ママ ママ ホテリアになってから、俳優時代と比べてフランクスタイルの変化とかはある。
和也 シフト制の働き方、劇と俳優時代と似ている感じがします。俳優って売れている人では口は閉じて仕事が出来ない、みたいなことがよくあるもので、フツフツ毎日吐き出さる感じは俳優のところからすれば、エンタメ業界とホテル業界の意外な共通点が見えてくるわ。



今月のお悩み相談 松田 早也香さん

私の悩みは、サブスクが辞められないことです。映画が好きで、月に最低5本、多い時は15本くらい観るのですが、気になった映画が観れないという状況がたまらなく嫌で、Netflix・U-NEXT・アマプラのほか、Huluやディズニープラスにも入っています。それから音楽も好きで、アーティストのファンクラブも5つほど入っています。

何かやめるべきでしょうか、？

あなたの今のオーラ

うすめオレンジ



今月の予言

家を出る時に、靴を履いてから気が付いた「あったほうがいいけどなくてもまあいい、靴履きちゃったしめんどくさいからいいや」となって持ってこなかったものが、急に必要になることがあります。絶対に取って出かきましょう！取りに行く意思さえ回れば、意外と一瞬なので。

オーラが見える

マダム・モーハさん



マダム・モーハの 占い館

映画を月に15本とは、素晴らしい集中力と才能をお持ちです。文化的な暮らし。憧れます。

そんなことは置いて、結論から申し上げますとサブスクもファンクラブも辞めなくていいです！「辞めたいのですが、どうすればよいのですか？」ではなくて「やめるべきでしょうか？」というお悩みは「辞めたくないです！！！」という意思の裏返しです。月に15本映画を見ている時点で元は取れていると思います(^_^)☆なので、最低5本を10本にして、Filmarksをどんどん活用していきましょう！

マダムのおすすめ映画は、「場所はいつも旅先だった」海外ドラマは「TWIN PEAKS」アマプラ限定は「マーベラスミセスメイゼル」Netflix限定は「EMILY IN PARIS」ディズニープラスは、ケンティアーが東京ディズニーリゾートを詳しくレポートしてくれる「Disney イッツ・ア・クイズワールド」です！色んな映画話＆推し活話をお聞きできるのを楽しみにしています！

孤独

BAR

水屋タウンの某所に、月に一夜だけオープンするおひとり様限定のバーがある。その名も「BAR 孤独」。ゲストの「孤独」にそと寄り添ってきた笠井マスター、今夜はいつもと少し様子が違うようだ。カラコロンとドアが開いて入ってきた今夜のゲストは、今庄さん。実は今日は笠井マスターから「折り入って話がある」と呼び出された。カウンターを挟んで向き合う二人の夜は、まだ始まったばかり…

笠井 ようこそ「BAR 孤独」へ。今日は急なお呼び出しにも関わらずありがとうございます。どうも。何をしておりましたでしょうか。

今庄 話があるなんて、急にどうしたんです？もしかして、秘蔵のワインテリジワインでも開けていただけるのでしょうか。

笠井 今庄さんの頼みとあれば奮発して、とおきの一杯をお出ししましょうか。

今庄 冗談で言っただけですが…（笑）ではお言葉に甘えていただきます。

笠井 さて、今庄さん。最近によく各施設を飛び回っておられますよね。日々活躍を拝見しております。

今庄 います。

笠井 それで思ったのですが、現場って、基本的にはフィジカルで泥臭い解決の連続ですけど、その忙しさの中で、いかにか自分なりの「やり込み要素」を見つけてられるかが、働く側にとっても、そしてお客様にとっても面白い時の鍵になるんじゃないか。僕も現場にいた時は、9時から12時までの3時間が、体感では1時間くらいに感じるような密度の濃さがありました。あの脳がフル回転して感じるのは楽しかったですね。

今庄 「やり込み要素」…い言葉ですね。

笠井 僕、去年の冬に雲井の開業メンバーと一箱に北海道の中村屋という温泉宿に行っただんですけど、そこが本当にすごく、誰が担当したのかは分からなくても、施設の隅々から、マニュアルを遙かに超えた凄まじい「こだわり」を感じるんです。お菓子の包み紙のデザイン一つ、洗面所のちょっとした設えの工夫一つ…。震える瞬間の多い宿泊体験でした。

今庄 他の社員からも「思慮いが感じられるホテル」って聞きました。それが僕たちのパリュムである「誇りをデザインする」ってことなんだろうな。先が言われたことをこなすんじゃないか、自分の意志でその場所を良くしていく。リピーターが生まれる瞬間って、まさにそういう人の熱量に触れた時だと思ってる。

笠井 そうそう。現場のメンバーに「これは君が思う存分やり込んでよ」って渡せるような、そんな余白のあるハードや企画を作っていたみたい。例えば、香林居なら蒸留の知識を極めがお客様に説明ができるようになるとか、ホテルシーならレコードの選

今庄 各施設、売上が過去のギネスを更新したり、イベントも盛り上がりつつあって、現場は常にフル回転で頑張ってくれてますよね。その現場の熱量をダイレクトに体感しながら各拠点のメンバーと肩を並べて走るのが、今の僕のスタイルですね。各ホテルのメンバーたちの近況を聞いたり、飲みに行ったり、わからない話をしたりするのも楽しいです。

笠井 まさに、現場の「伴走役」ですね。今の水屋って、施設ごとにマネージャーのカラーも運営のスタイルも違うから、今庄さんみたいに軽やかにそれを乗り越えて横断的に繋いでいく役割って、組織が大きくなるほど重要になると思うんです。

今庄 おっしゃる通りで。チェーンストア理論でもよく言われますけど、売上や数字を追うラインの管理職とは別に、品質（クオリティ）やカルチャーを守るために現場と役員をダイレクトに繋ぐ（スーパーバイザー）の役割が、今後の水屋には必要になってくると思うんです。各ホテルの店長にあたるマネージャーたちが、孤独に陥らずに、かつ水星としてのクオリティを維持するための「架け橋」になりたいですね。

笠井 組織としての盤石な土台作りですね。これから大きな開業プロジェクトなんかも控えていますし、そうなること今まで以上に現場組織を安定させるのは急務ですから。今庄さんのような立ち位置の人がいるのは、組織としてすごく心強いはずですよ。今は採用にもコミット力強いですね。

今庄 「30店舗を目指す」って掲げている中で、採用は本当に大事な任務ですよ。水星が求めている要件って、一般的なホテル採用曲や解説ができるようになるとか。

今庄 分かります。店舗ごとに違う「やり込み要素」があるんですよ。「自分負があるスタッフがいる」という、やっぱ強い。ホテルンではレコードに詳しくなかったアルバインドでレコードを流していたという話を聞きました。そういう小さな「やり込み要素」の積み重ねが、水星のホテルの空気を作っているんだと思います。：なんだか仕事論の話で盛り上がりすぎて忘れそうになってました、そろそろ笠井さんの話とやらを聞かせてもらわないと。

笠井 つい熱く語りちゃいましたね。実は僕、修行のために旅に出ることになったんです。この「BAR 孤独」でいろんなマネージャーたちの話を聞いてきて、みんなの熱に触れるうちに、僕自身ももっと外の世界を自分の足で見て回りたいなと思うようになって。このカウンターに座って話を聞いているだけじゃなくて、もっと自分を磨き直したい！と。だから、武者修行というか、放浪してこようかなと。

今庄 そうか。それも笠井さんらしい「やり込み」ですね。でも、寂しくなりません。じゃあこの「BAR 孤独」はどうなっちゃうんですか？ 閉店しちゃうんですか？

笠井 それなんです。せっかくなので

の基準とは全然違うじゃないですか。単に「接客が丁寧」なだけじゃなくて、コンセプトへの理解や、自ら「やりたい」を形にする熱量が必要。だから、世の中でよくあるような採用チャネルだとか、うまくアプローチできないんです。金井塚さんも、イベントに足を運んだり、現場で声掛けしてみたりと、人脈や場を使っただけで済んでいますが、良い出会いのためには、会社は待つだけでなく、ダメでいいんだって、自分が大事だと思っています。まさに「やり込み」ですよ、採用も。

笠井 水星の良さって、外から見ると「なんかイケてることやってるな」っていう表面的なところで止まりがちで、中の熱量や本当の「働く面白さ」が伝わりにくいかもしれないですね。だからこそ、採用サイトもより現場の「生」の感じを出すように進化させるリニューアルも絶賛動いていますし、こうやって中の人の生の声を届ける場所が採用にとっても大事になってくる。

今庄 ホテル業界って、キャリアを積んでいこうと思ったら別のホテルに移るのが当たり前みたいなキャリア構造があるじゃないですか。同じ箱に3年もいればオペレーションには慣れるし、年間レギュレーションも回せるようになる。そうなるって、他のホテルってどうなってるんだろって思っ、よそに行ってみたくなる。けどホテルを多数展開している会社だと、ある程度サービスは施設間で均質化されていて、場所が変わっても景色が変わらないというところも多いと思います。水星は一つの施設の中にも色んな活躍の仕方があるし、施設ごと運営も違っていたりしますよね。

笠井 確かに。水星なら「次はこんなことに挑戦したい」という横の広がりがありますよね。

今庄 花岡さんみたいで、自分のやりたいことに対して「マジでちゃんと取り組めば形になる」という実例も出てますし。ホテリエとしての新しいキャリアの描き方ができるってことをいかに候補者の人たちに見せていけるか。これが水星が提示できる一つの魅力だと思

ゲスト 今庄湧希



マスター 笠井明

続いてきたこの場所を、僕としてもなくしたくないんです。だから、今庄さんにこのカウンターを引き継いでほしいと思って。二代目今庄マスターとして。

今庄 僕が、マスターですか！？

箕井 メンバー一人ひとりの顔を知っている今庄さんなら、みんなつい本音で語りたくなると思うんです。今の話みたい

に現場の泥臭い話もマニアックなことわりも、引き出してくれるはずですし。なるほど。突然の任命で驚いてますけど、箕井さんのその真っ直ぐな決意を聞いたら、分かってました、任せてください！

今庄

ただ、引き継ぐにあたって、一つ提案があるんです。「孤独」って、語るのに少しパワーがいるじゃないですか。水星での経験が豊富な箕井さんだから

今庄

「孤独」があると思うんですが、僕がやるならもつとみんなが気軽に来れる場所が良いのかなって。さっき話したような自分の「やり込み」を全力で自慢し合えるような、ポジティブで熱い場所にしたいんです。

今庄

僕も、実際のところは「孤独」の先にある、何かに憑りつかれたような「やり込み」の話がもつと聞きたいと思っていました。それなら、この機に、店名も変えちゃいませんか？

今庄

ありがとうございます。安心して旅に出られます。旅へ出る箕井マスターの門出に。

今庄

それ、最高ですね。今庄マスターなら、僕が開き出せなかつたようなもつとデビューでマニアックな話が聞けそう

今庄

よし、決まりましたね。仕事もプライベートも、結局はどれだけ深く「やり込み」か。誰も気づかないようなホテルの細部へのこだわりから、趣味の極致まで、デビューでマニアックなバーにしましょう。

今庄

それはそうと、箕井マスター、修行の旅、気をつけて行ってきてください。箕井さんがいつでもふらっと帰ってきてもいいように、ここは僕がしっかりと「やり込んで」守っておきますから。

今庄

ありがとうございます。安心して旅に出られます。：じやあ、最後の一杯を。これからの「BAR やり込み」と、二代目今庄マスターの門出に。

今庄

そしてさらなる高みを目指して修行の旅へ出る箕井マスターの門出に。

今庄

それ、最高ですね。今庄マスターなら、僕が開き出せなかつたようなもつとデビューでマニアックな話が聞けそう

今庄

よし、決まりましたね。仕事もプライベートも、結局はどれだけ深く「やり込み」か。誰も気づかないようなホテルの細部へのこだわりから、趣味の極致まで、デビューでマニアックなバーにしましょう。

今庄

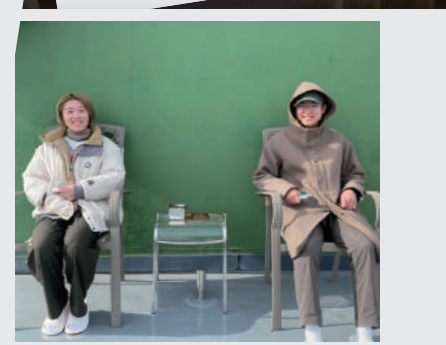
それはそうと、箕井マスター、修行の旅、気をつけて行ってきてください。箕井さんがいつでもふらっと帰ってきてもいいように、ここは僕がしっかりと「やり込んで」守っておきますから。

今庄

ありがとうございます。安心して旅に出られます。旅へ出る箕井マスターの門出に。

今庄

そしてさらなる高みを目指して修行の旅へ出る箕井マスターの門出に。



-BAR 孤独 最終回の一杯・箕井マスター秘蔵のおすすめワイン-



「Rien Nest au Hasard」
アルザスワインの「フルーティーで華やか」なイメージを覆す、複雑な装いと旨味が特徴の自然派ワインです。



SUISEI
図書館

水星図書館へようこそ。

水星で働く私たちが日々の仕事や旅、暮らしの中で出会った本を紹介する選書コーナー。ビジネス書や小説、エッセイ、アートブックまで、ジャンル問わず「いま誰かに読みたい一冊」をピックアップ。あなたの心に、新しい景色を届ける本と出会えますように。

本日のゲスト

藪田晃平さん

1.



生きる言葉

「サダ記念日」などの短歌の歌集で有名な依万智による「言葉」についての評論。現代人の言葉遣い、演劇、HIP HOP、クソリア、AI短歌など幅広いピックをエッセイの要素をもつて読み進められる一冊です。子供を持つ方には特に興味深い内容かもしれません。

2.



MIDNIGHT PIZZA CLUB

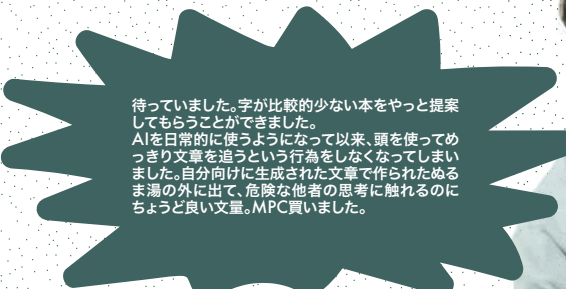
俳優・テレビディレクター、写真家の男3人のネバール・ランタン谷の旅行記。ただのドキュメンタリーではなく、3人の関係性や思考、ユーモアをもって「世界一美しい谷」を目指す旅の追体験ができる一冊。写真も装丁も素晴らしいフィジカルで持っておきたい格好良い書籍です。

3.



達国日記

ヤマシタトモコ
人見知りや不愛想な小説家と、彼女が勢いで引き取ってしまったき姉の娘。年齢も環境も何もかも違う2人がどこまでも互いにかかけあえない存在ながら、互いに支えあっていく物語。実写化もアニメ化もされていますが台詞を文字で読める原作が一番美しくおすすめです。



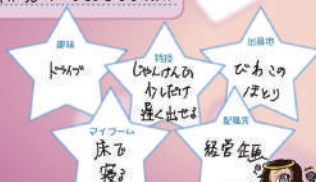
待っていました。字が比較的小さい本をやっと提案してもらうことができました。AIを日常的に使うようになって以来、頭を使っただけで文章を追うという行為をしなくなっていました。自分向けに生成された文章で作られたま湯の外に出て、危険な他者の思考に触れるのにちょうど良い文章。MPC買いました。



Suisei Friends

profile

わたしの名前は **今尾 陽希**。
1993年10月25日生まれの20歳。
血液型はB型でかんがからじよーつて呼ばれてるよ。休みの日はイロドリをしてるかな。目標は **人妻** のお仕事をしているよ。こんな私の性格を一言で言うと **熱気と情熱のかけがえなし**。よろしくね★



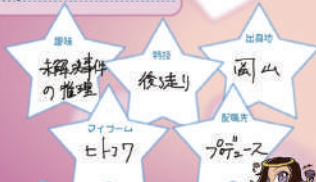
My Favorites

食べもの	場所	ホテル
アヒル	びわこ	RESORT
音楽	字・雑誌	映画
青	泡鳴茶	パン
色	お酒	声優
		真田広之

Suisei Friends

profile

わたしの名前は **荒木 拓也**。
1990年2月6日生まれの34歳。
血液型はA型でかんがから **ARAKI** って呼ばれてるよ。休みの日は **伊波 俊光** をしてやるかな。目標は **プロデュース** のお仕事をしているよ。こんな私の性格を一言で言うと **最高!**。かな。よろしくね★



My Favorites

食べもの	場所	ホテル
イカ	川崎近	Log Cabin?
音楽	JOPPY AND MARI	字・雑誌
青	音のBRAVUS	映画
	三浦寿	鬼が来た!
		福くん

MY BEST 3

- No.1 トラップ
- No.2 絶対王子様
- No.3 エッセイ

MY fave talk

推しの名前は **（？）**。
推しの好きなところは **（？）**。
推しの好きなことは **（？）**。
推しの好きな食べ物は **（？）**。
推しの好きな場所は **（？）**。

Questions

わたしは誰か? 原研太郎	わたしは誰か? 南極
わたしは誰か? White Board	わたしは誰か? 毎日20分
わたしは誰か? 10分	わたしは誰か? 10分
わたしは誰か? 10分	わたしは誰か? 10分
わたしは誰か? 10分	わたしは誰か? 10分

IF...?

もしも... **（？）**。
もしも... **（？）**。
もしも... **（？）**。
もしも... **（？）**。

MY BEST 3

- No.1 セイジ
- No.2 フォー
- No.3 ティー

MY fave talk

推しの名前は **（？）**。
推しの好きなところは **（？）**。
推しの好きなことは **（？）**。
推しの好きな食べ物は **（？）**。
推しの好きな場所は **（？）**。

Questions

わたしは誰か? バイク	わたしは誰か? 盤岡
わたしは誰か? くさ	わたしは誰か? 新見
わたしは誰か? 家	わたしは誰か? BIG
わたしは誰か? （？）	わたしは誰か? （？）

IF...?

もしも... **（？）**。
もしも... **（？）**。
もしも... **（？）**。
もしも... **（？）**。